

令和5年度学校経営計画

秩父市立西小学校

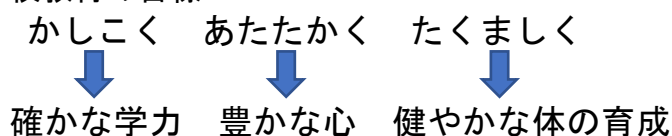
I 基本理念

安全・安心で元気あふれる西小学校

少子高齢化、グローバル化、AI化が進むとともに、予測困難な社会の中で、自立した人間として力強く生きぬくためには、自らの力で人生を切り拓く力が必要である。そこで、家庭・地域と連携し、人間力を養うため、児童一人一人を大切にし、将来の夢と志を育み、地域の一員として貢献するとともに、社会で活躍する礎を築く必要がある。

そのため、チームとしての学校力を高め、児童の生活の基盤である学校・家庭での安全・安心が保障され、誰にとっても居心地がよく、安らぎがあり活気あふれる学校づくりを行う。

II 学校教育の目標



III めざす児童像

夢と志をもち、地域に貢献できる児童

- 時を守り、場を清め、礼を正す子
- 自分も他の人も大切にする子
- 自分で考え自分で判断し、進んで行動する子
- 自己のよさや可能性を伸ばす子
- 集団の一員としてよりよい人間関係を築ける子
- 郷土を愛し、地域に貢献する子

IV めざす学校像

安らぎがあり活気あふれる学校

- 児童が自信と希望をもち、いきいきと活動する学校
- 児童が確かな学力を身に付けられる学校
- 礼儀正しく、温かなふれあいと「居がい」のある学校
- 保護者、地域に信頼され、誇りとされる学校
- 人と人とのつながりに潤いがあり、児童が安全に安心して学べる学校

V めざす教師像

児童と共に笑顔で行動する教師（合い言葉：すべては子供たちのために）

- 仕事に責任を持ち、チームワークを大切にする教師
- 教師としての資質向上に努め、児童のやる気を引き出す教師
- 一人一人の実態に応じた個別の支援に努め、誰もがわかり、学力を伸ばす授業を行う教師

- 児童の変化に気づき、寄り添い適切に対応できる教師
- 児童、学校、地域を愛し、誇りをもっている教師

VI 学校経営方針

- 「すべては、子供たちのために」を合い言葉とし、児童と教職員の信頼関係に立つ学校づくりを進める。
- 教職員一人一人が資質向上に努め、力を発揮できる学校づくりを進める。
- 誰もが楽しく、よくわかり、学力を伸ばす授業が行われる学校づくりを進める。
- 一人一人が「居がい」を味わえる学校づくりを進める。
- 誰もが安全に安心して生活できる学校づくりを進める。
- 児童、教職員が誇りを感じられる学校づくりを進める。
- 保護者や地域から信頼される学校づくりを進める。

VII 重点的な取組

1 確かな学力と自立する力の育成

重点目標

- 学習意欲を高める授業の創意工夫
- 学習指導の改善と充実
- 家庭との連携による学習習慣の確立

具体目標 全国・県学調

R5 全国・県平均を超える。

主な取組

(1) わかりやすい授業の展開

- 「主体的、対話的で深い学び」を重視した授業（西小スタンダードの実践）
（チチブミニマムスタンダードに基づく国語・算数の実践、学習課題、学び合い、まとめ、振り返りを重視した授業実践）
- G I G Aスクール構想に基づく I C Tを有効活用した授業実践
（タブレットを活用するための環境整備と実践事例研修の実施、プログラミング教育の推進、臨時休業等に伴うオンライン授業の実施、全教員がタブレット活用した授業を週3回以上実施）
- 授業への集中力を高める取組
（学習規律、返事・言葉遣い、潤いのある学習(教室)環境の整備)
- 個に応じた学習指導の展開及び支援を要する児童への指導の充実
（習熟度別少人数指導の充実、学習形態の工夫、宿題等の評価と支援、特別支援学級との連携）
- A L Tと連携した外国語科の充実（教材教具の整備、英語ルームの活用、指導法研修）

(2) 各種学習状況調査の分析と活用

- 児童一人一人の伸びの見届けと改善
（結果の分析→課題の把握→指導方法の工夫・改善→検証）

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着（朝学習、朝読書への取組）
- 効果を上げている実践例の共有と活用
- 学力向上に向けた研究の継続と工夫・改善
- (3) 家庭学習・読書活動の習慣化
 - 家庭と連携した家庭学習・読書活動の充実（家庭学習強化週間、親子読書週間）
- (4) 小・中学校9年間を一貫した教育の推進
 - （一中学区学校共通の学習の約束、授業交流、4校合同研修会等）
- (5) 体験活動を通じた勤労観・職業観の育成、キャリア教育の充実
 - （社会科見学、学校ファーム、幼保小の連携、総合的な学習の時間）
- (6) 特別支援教育の推進（インクルーシブの理念に基づいた多様な学びの場の充実（通級指導）、特別支援学校との連携（支援籍学習）と特別支援コーディネーターによる巡回相談の実施）

2 豊かな心と健やかな体の育成

重点目標①

- 学級経営の改善と充実
- 積極的な生徒指導の推進
- 心を耕す教育の充実

具体目標 本貸出数

R5 図書室の本貸出数 18,000冊以上

R4 21,643冊

R3 19,419冊 R2 18,879冊 R1 17,689冊 H30 12,846冊

主な取組

- (1) 入学・進級時の人間関係の構築（学級開き、係・当番活動、クラスレク等）
- (2) 気づきを大切にした教育相談活動の充実（教育相談引継ぎファイルの活用、児童観察、連絡帳、児童アンケート等）
- (3) 積極的な生徒指導の推進（西小よい子のやくそく、あいさつのきほんの定着（あいさつ名人の推進、R5西小の重点目標、月の生活目標）
- (4) よりよい人間関係、学級づくりの推進（学級活動の充実、コミュニケーション能力の育成）
- (5) 自尊感情や自己有用感を高める取組の充実（一人一人を大切にした学級活動や学年・学校行事、学習成果の校内掲示、ニコニコにっこり西小っ子への取組、プロジェクト活動等）
- (6) 夢や志を育む取組の推進（キャリア教育の充実、キャリアパスポートの取組）
- (7) 特別な教科「道徳」の時間を中心とした豊かな心の育成
 - （「彩の国の道徳」の活用、読み聞かせ、校長講話、動植物の世話等）
- (8) 参加体験型プログラムの積極的な活用（ライフスキル教育、ソーシャルスキルトレーニング、グループエンカウンター、人権感覚育成プログラム等）
- (9) 読書活動の充実（朝読書、読み聞かせ、司書教諭補助員の活用、図書館との連携）
- (10) 児童一人一人に居場所と安らぎのある学校づくりの推進→人権教育の充実
 - （教室環境の整備、学年毎の人権教室、人権作文・標語、花いっぱい学校）

- (11) 問題を抱える児童への支援の充実と問題の早期発見・早期対応→いじめ・不登校対策等（生徒指導委員会、教育相談引継ぎファイルの活用、ケース会議の実施、S C、S S W、家庭児童相談員、民生児童委員、医療・福祉等関係機関との連携）

重点目標②

- 体力向上と健康教育の推進
- 新型コロナウイルスの正しい理解、感染予防の徹底と心のケア
- 安全指導の徹底
- 自信をもって行動できる児童の育成

具体目標 新体力テスト

R5 ○新体力テスト

- ・総合評価A+B \geq 60%

R4 49.8% R3 59.6% R2 71.4% H30 68.7%

- ・8項目中、5項目以上県平均値を上回る児童の割合60%

R4 39.8% R3 73.4% R2 54.8% H30 50.3%

主な取組

- (1) 運動の楽しさを味わわせ、体力を高める体育の授業（運動量の確保、すくすくプログラムの実施、ケイリキタイムの充実、個に応じた支援、体育カードの活用）
- (2) 新体力テストの結果に基づく体力の向上
（柔軟性・瞬発力の向上、各学年の課題に沿った指導、休み時間の運動）
- (3) 新型コロナウイルス感染予防対策と心のケア
 - ①子供たちの心と体の健康管理及び、感染防止に向けた環境衛生の徹底
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策「安全・安心宣言」（西小スタンダード）の実践（正しい手洗いの徹底、3密対策、子供たちの健康状況の確認、リスクのある箇所へのアルコール消毒等）
 - ・昨年度、児童会が中心となって作成した「西小マナー」の取り組みを継続（リスクや危険性を正しく知り、自分で考え判断し、進んで感染予防できる児童を育成）
 - ・授業形態の工夫
（一斉型の授業を基本とするが、隊形を工夫したり、ICTを有効活用したりしながら、グループでの学習活動や対話的な活動を実施）
 - ②子供たちの不安や悩み等、心のケアの取組
（偏見や差別をなくす教育の推進、ケース会議の実施、S C・S S W・医療・福祉との連携）
 - ③学校行事の見直しと状況に応じた措置
（With コロナの考え方と感染状況を踏まえて学校行事を見直し、行事の再開、延期、規模の縮小、内容の変更等、柔軟な措置）
 - ④学級閉鎖・学年閉鎖に備え、児童の学びを止めないために家庭との通信手段確保
（全家庭が電子メール（すぐメール）の登録、ビデオ会議システム「Google Meet」や「ZOOM」を活用した双方向型のコミュニケーションを実現化）

- (4) 生涯健康への礎づくり（食育授業、歯科講話、学校保健委員会）
- (5) 食物アレルギーへの対応（栄養士、担任、保護者、教務部の連携による除去食の対応、食物アレルギー対応委員会、エピペン講習会の実施）
- (6) 安全指導の徹底（登下校指導、スクールガードとの連携、交通安全教室の実施、計画的な避難訓練、遊具の使い方と遊びの約束）

3 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

重点目標

- 教職員の資質向上と心身の健康
- 子供の安全・安心の確保
- 潤いのある学習環境の整備

具体目標 安心・安全

R5 児童・教職員の事故 ○

R4 児童○ 教職員○

主な取組

- (1) 教員の資質向上と組織体制の充実
 - 目指す学校像を意識した学校運営への参画、校内研修の充実、研究授業・模擬授業、授業観察、構造的板書の工夫、人事評価制度の効果的な運用を通して、以下のような教師を目指す。
 - ・児童のやる気を引き出す教師、誰もがわかる授業を行う教師
 - ・児童の心を受け止められる教師
 - ・責任感がありチームワークを大切にする教師
- (2) 居心地がよく落ち着いて学習に取り組める教室環境づくり
 （より良い環境づくりと心を育てる清掃の実施、児童の成長がわかるユニバーサルデザインの視点に立った掲示物の工夫、花や植物の栽培により自然の大切さを学ぶ）
- (3) 学校評価の分析結果に基づく指導の工夫・改善
 （自己評価、学校関係者評価、児童・保護者アンケート）
- (4) 危機管理・事故防止の徹底
 （安全点検、登下校指導、危機管理マニュアルを活用した訓練（不審者対応訓練の実施）、服務規律の確保）
- (5) 授業実践資料等のライブラリー化
- (6) 特別な教科「道徳」の充実
- (7) 家庭・地域との信頼関係の確立
 （教育活動の情報発信、P T A・学校応援団・地域学校協働活動・関係機関との連携）
- (8) 教職員の心身の健康の保持・増進
 （業務改善と負担軽減の推進、在校時間の適切な削減、ワークライフバランスの確立）
- (9) 各種研修会等への積極的な参加（他の教職員への情報提供、資料の共有化）
- (10) 学校農園及び西小の森の整備と活用（学校応援団、地域学校協働活動、農林振興センター等）

4 地域ぐるみの教育の推進

重点目標

- 家庭・地域の教育への参画意識の向上
- 学校情報の積極的な発信
- 地域に貢献する児童の育成

具体目標 連携・交流の充実

- R5 コミュニティ・スクールの推進
異校種との交流
学校応援団活動の充実と地域学校協働活動の推進

主な取組

- (1) コミュニティ・スクールを核とした地域の中の学校としての取組
(よりよい学校を目指した学校運営協議会の熟議の充実と関係機関への働きかけ、学校公開、学校応援団との連携、地域学校協働活動の推進、校外地域活動への参画)
- (2) 学校情報の家庭・地域への積極的な発信
(学校・学年だより・HPの内容及び更新頻度の向上、緊急時におけるすぐメールでの発信)
- (3) ネットトラブル防止に向けた取組
(低学年からの系統的な指導、外部機関と連携した親子で学ぶ出前授業の実施、ネットトラブルの情報発信)
- (4) 異校種との積極的な連携と交流
(中学校との連携、幼稚園・こども園・保育所との交流)
- (5) 地域との協働、相互作用により、地域の一員として貢献
(各教科・総合的な学習の時間における体験活動の充実)
- (6) 地域貢献活動の推進(ボランティアキッズ、地域行事への参加、ベルマーク収集)
- (7) 幼保小の滑らかな接続による小1プロブレムの解消
(幼保及び家庭との連携、民生児童委員・関係各機関との情報交換、入学前の情報交換)
- (8) 家庭の教育力の向上(学級懇談会、PTA講演会、啓発活動)
- (9) 高齢者との交流(環境整備作業、生活科昔遊び)

<教職員の合言葉>

すべては、子供たちのために